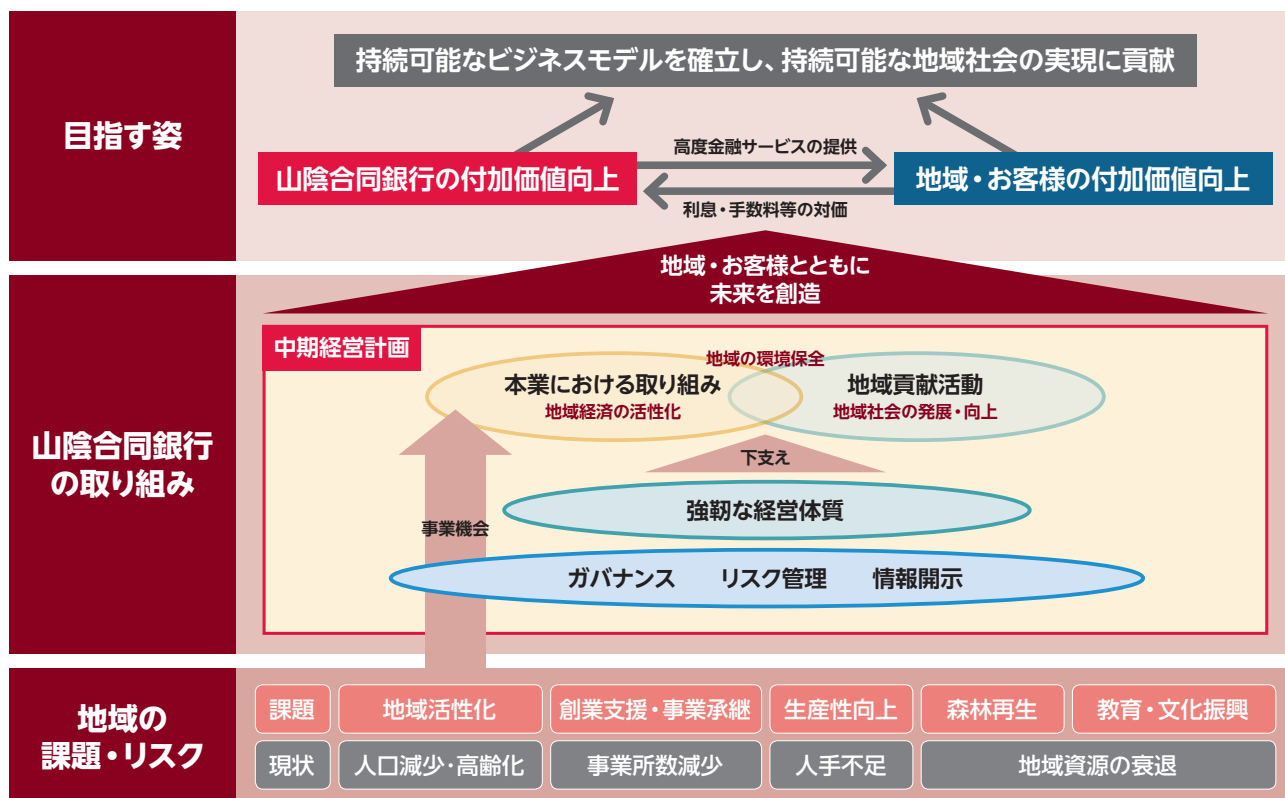


長期的に目指す姿 ～持続可能な地域社会形成の取り組み

中期経営計画（2018年度～2020年度）において、当行が長期的に目指す姿として、「地域・お客様の課題解決」により、「地域」と「当行」の「持続的な成長」を実現することを掲げました。

これまで取り組んできた事業支援活動や地域貢献活動を発展・拡大させ、地域・お客様・当行ともに付加価値を向上することで、持続可能なビジネスモデルを確立し、持続可能な地域社会の実現に貢献していくことを目指していきます。

当行が長期的に目指す姿のイメージ図



「ESG金融懇談会」における頭取講演

2018年5月30日、「第5回ESG金融懇談会」の話題提供者として、当行の石丸頭取が「山陰合同銀行におけるESGに関する取り組み」と題し、講演しました。

持続可能な地域社会の実現のために、当行がこれまで取り組んできた事業支援活動や地域貢献活動についてお話しさせていただきました。



“ESG金融懇談会”概要

環境、社会、企業統治を考慮した資金の流れが世界的に広がるなか、ESG投資（直接金融市場）のみならず、ESG融資（間接金融市場）においても、地域で環境金融が広がることにより、環境と経済の両方の観点から地域の持続可能性が高まっていくことを目指すもの。

- 主催：環境省
- オブザーバー：経済産業省、金融庁、日本銀行
- 第5回議事：融資先企業との対話や事業性評価等の実効性向上に向けたESGのポテンシャル（持続可能なビジネスモデルに資する実践面の工夫・改善等）